

わらべどんぐり祭り

わらどん

平成26年12月16日

発行責任者
早川北小学校
校長 一瀬純司

四十二年目の民話劇 北小体操・一輪車演技

十月十八日(土)恒例のわらべどんぐり祭りを行いました。オープニングでは北原白秋の『お祭り』をベースに力強い群読を披露しました。四十二年目となる創作民話劇は保地区に伝わる

『金掘り人夫のお奉行様』を演じました。会場は温かい拍手や笑いに包まれました。
音楽発表は五・六年生の発表、全員の『剣の舞』器楽演奏、合唱『COSMO』



をいただいただけでなく、多数の参加をいただきました。『北小体操』が復活し、一輪車等の演技は昨年度に増して見応えのあるものになりました。
みなさま、来年もぜひご来校・ご参加ください。

S』で、またまた、たくさんの拍手をいただきました。餅つき交流会(詳細は左記事)を終えて、体育発表では、地域のみなさんの大きな声援

南小との交流会

吹奏楽体験、リズム体験



十月二十七日(木)に、北小児童が早川南小学校を訪問しました。南北小学校交流の一環です。毎年、北小は演劇を、南小は吹奏楽を披露しあっています。しかし、今年には台風の影響で、南小児童が北小に来て演劇を見ることが中止になってしまいました。
それでもこの日、本校児童は南小児童の吹奏楽の演奏を聞き、楽器体験をしたり、リズム運動をしたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、終わりの会の感想発表では、五人の児童が手を挙げて

餅つき交流会

多数の方のお手伝い・ご出席ありがとうございました

わらべどんぐり祭りの中の『餅つき交流会』には、お手伝いをたくさんしていただきました。前日の準備、もち米の蒸かし、餅つき、手返し、つけ粉、分配、配膳等々、本当にありがとうございました。

会食では、用意した百五十席が足りないのではないかと冷や冷やしましたが、工夫して乗り切り、楽しい会食となりました。校舎建設当時のコンセプトである『三世交代』

流』のひとつとき、地域のみなさま・家族のみなさま・児童と一緒にあって和室と玄関ホールで会食できるこのひとときは、まさに北小ならではのことで、しみじみ感じ入りました。

こつという行事ができる学校が少なくなっていく昨今、こういう行事ができています。みなさまのご支援・ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



発言しましたが、みんなノー原稿のぶっつけ本番で、長い感想発表が言えていてすばらしいと思いました。
左の文章の()内は意味の付加や解説で、本人が話したことはありません。
「僕は六年生の〇〇です。僕は南小との交流会で、演奏を聞くのは今年で二回目だけど、聞いていて、去年よりもレベルアップしているのを感じました。きれいな音が出ていたと思うし、南小のみなさんの気持ちがこっちまで伝わってくるような感じもしました。南小の人たちが頑張っで練習してきたくれたおかげで、僕たちも南小のみなさんの演奏に、すごく勇気づけられました。また、楽器体験などを去年からもっとレベルアップしていたの感じます。去年は一・二年生の振付だったけど、今年(ボディパーカッション)だけではなく)一・二年生の振付も(一年生の真似をしながら)一応やっただけの感じがして一石二鳥みたいな感じでした。今日はすばらしい演奏を聞かせてくれてありがとうございました。」

